

問	当事者	具体的な取組	取組で得られる効果は？
<p>問 1 委員推薦を依頼した団体から、女性の推薦を得るには、どうすればよいだろうか。</p>	<p>①団体</p>	<p>団体に女性推薦の理解を得られ、その理由が分かるよう依頼。</p>	<p>委員を経験することで、女性が政策意思決定過程に参画する実感を得られる。</p>
		<p>団体内で推薦する人を持ち回り。</p>	<p>就任への心構えができ、会議参加への抵抗感が軽減する。推薦する人の持ち回りにより公平性や団体の委員選出の負担が軽減する。</p>
		<p>SNSなどで会議風景の写真とともに会議情報を発信。</p>	<p>附属機関等の役割について理解が深まる。会議の役割を理解して参加することで会議の満足度が上がり、次期委員等の推薦も円滑にできる。</p>
		<p>女性の長期在任を緩和</p>	<p>所属する女性が少ない団体で女性を推薦しやすくなる。</p>
		<p>団体に女性推薦の必要性和男女共同参画の理解促進を図るため、トップダウンで委員選定を進める。</p>	<p>女性の推薦に理解が深まり、団体推薦の女性が増加する。女性参加で議論の幅が広がる。</p>
		<p>現委員から次期委員に会議の雰囲気や体験談を伝える。</p>	<p>次期委員等の会議参加への不安感が解消する。</p>
		<p>女性委員等を推薦した団体をホームページなどで紹介。</p>	<p>女性活躍に理解のある団体としてイメージアップにつながり、団体推薦による女性登用が進む。</p>
		<p>機関ごとに会議参加者にアンケート調査を実施し、調査結果を次期改選に伴う団体推薦の依頼時に、機関の概要情報として活用。</p>	<p>次期委員等の会議参加への不安感が軽減する。アンケート結果を踏まえた質の高い会議運営につながり参加しやすい会議環境づくりが進む。</p>

問	当事者	具体的な取組	取組で得られる効果は？
<p>問1 委員推薦を依頼した団体から、女性の推薦を得るには、どうすればよいだろうか。</p>	<p>② 推薦者</p>	<p>推薦候補者が会議を見学できるようにする。</p>	<p>会議参加への心構えができ、より審議に集中できる。 会議の意義を踏まえ、他の附属機関等への参加意識が生まれる。</p>
		<p>参加者が自身の意見をまとめられるよう、会議資料を事前を送付。</p>	<p>会議参加への心構えができ、より審議に集中できる。 会議の意義を踏まえ、他の附属機関等への参加意識が生まれる。</p>
		<p>SNSなどで会議風景の写真とともに会議情報を発信。</p>	<p>附属機関等の役割について理解が深まる。 会議の役割を理解して参加することで会議の満足度が上がり、次期委員等の推薦も円滑にできる。</p>
		<p>委員自身になぜ推薦されたかを理解してもらうため、男女共同参画の理解促進を図る。</p>	<p>会議の役割や参加意義が深まり、家族の協力が得られやすくなる。</p>
		<p>附属機関等所管課が会議参加者に会議の感想を聞き取り、その内容を次期参加者に情報提供。</p>	<p>次期委員等の会議参加への不安感が解消する。</p>

問	当事者	具体的な取組	取組で得られる効果は？
<p>問2 子育て世帯が会議に参加してもらうには、どうすればよいだろうか。</p>	<p>③子育て世帯</p>	<p>オンラインでの参加環境を整備。</p>	<p>子育て世帯が会議に参加しやすくなる。</p>
		<p>委員が意見を考えて会議に参加できるよう、会議資料を事前に送付。</p>	<p>委員が審議の中での的確に意見することができ、審議を円滑に進められる。</p>
		<p>会議で出された意見を取りまとめて公表。</p>	<p>参加者が自身の発言が会議に役立つことを感じ、会議に参加する意欲が増す。</p>
		<p>子育てサークルに会議参加を呼びかける。</p>	<p>子育て世帯の社会参加の機会につながる。</p>
		<p>会議資料の事前送付や会議でグループワークを設けるなど発言しやすい会議の運営。</p>	<p>会議で発言しやすくなり、議論の幅が広がる。</p>
		<p>会議参加者への満足度アンケートを実施。</p>	<p>会議で発言しやすい環境づくりが行われ、議論の幅が広がる。</p>
		<p>子育て世帯が参加しやすい時間に会議を開催する。</p>	<p>子育て世帯の参加が増え、委員の年齢層が広がる。</p>
		<p>カジュアルな服装でお菓子を持ち寄るお茶会形式の開催。 会議場所に行けない場合でも参加できるよう事前の意見提出やオンラインでの参加環境を整備する。 会議に参加する委員に公平に発言する機会を設ける。 託児を支援し、子ども連れで会議の場に来て良いというメッセージを発信する。</p>	<p>会議参加への心理的なハードルを下げることで、子育て中心に生活している女性の会議参加につながる。 会議参加経験そのものが社会とつながる貴重な機会になる。 多様な属性の人が会議に参加することで、会議の質が向上する。</p>

問	当事者	具体的な取組	取組で得られる効果は？
<p>問3 附属機関等の事務局職員が女性登用の意識を高めるには、どうすればよいだろうか。</p>	<p>④ 事務局</p>	<p>会議で女性参加者が少数の場合の発言しづらさを理解する。</p>	<p>会議で発言しやすい会議を運営。 女性登用の意識が高まり、多様な意見が出てくる。</p>
		<p>委員改選を迎える個別の附属機関等に女性登用の通知文を送付する。</p>	<p>女性登用が進み、多様な意見が出される。 会議で男性委員が女性委員の意見で気づきを得る。</p>
		<p>男女比率半々の模擬会議，女性のみ，男性のみの模擬会議を行い，男女比率の違いによる会議運営を体感する場を設ける。</p>	<p>会議の空気感や参加者の気持ちを汲み取る力が養われ，女性の会議参加について理解が深まる。</p>